

守れ！イチモンジタナゴ！！プロジェクト 2017 報告書①

開催日：平成29年3月18日（土）

時間：13時30分～15時00分

場所：レクチャールーム他

参加人数：25名中24名

運営スタッフ：高木，松永，和田，精華大学板倉ゼミ学生

内容：・自己紹介

- ・プロジェクトについてのオリエンテーション
- ・イチモンジタナゴの観察
- ・園内疏水めぐり
- ・水質検査



これから半年間，このメンバーと一緒にやっていきます。
初めての顔合わせでみなさんちょっと緊張気味です。

最初の自己紹介では，自分の名前と魚にまつわることをお話してもらいました。すると，みなさんの魚に対する思いが自己紹介の時点で熱く語られ，この先がとても頼もしく，そして楽しみになりました。

さっそくお勉強です。イチモンジタナゴとはどのような魚なのか，京都市動物園でイチモンジタナゴを飼育し，保護増殖に取り組んでいるのはなぜなのかを説明しました。



少し難しい話もしましたが、子供たちもよく聞いてくれましたし、熱心にメモを取っていたメンバーも多数いました。

次はレクチャールームを出て園内の疏水めぐりです。

「京都市動物園とイチモンジタナゴの関係」は琵琶湖疏水がつないでいるのです。本来イチモンジタナゴは琵琶湖から流れている川や疏水などで生息している魚なのです。

園内の小川や池だけでなく、動物のプールや池などにも多く利用しているので、実際に見ながら園内を回りました。



「京都の森」の小川に流れている疏水の水は、園内中央の噴水池まで流れていきます。



ここは「おとぎの国」のカメ池です。
近年、外来種のカメによって日本のカメが減っていることもお話ししました。



「アフリカの草原」にいるフラミンゴの池も疏水の水を使っています。

本日の感想文の中にも「動物園で琵琶湖疏水の水を利用しているのは知らなかった」という感想が数人あり、今後の動物園でももっとアピールしていかなければ！という課題にもなりました。

このプロジェクトでは毎月様々な活動はしますが、中でも毎回継続して行うことがあります。園内5ヶ所の水温・水質検査とイチモンジタナゴの観察です。



水質検査がなぜ必要なのかを説明し、次回からは自分でできるよう、今日はレクチャーをしながら一緒に行いました。タナゴの観察も水質検査も、この半年間でどのような変化があるのか見ていきます。



その他に、毎回学んだことや感じたことが記録として残るように、ワークシートを用意しました。

最後にはこのシートが6枚になって、いろいろなことを学んだ証になるとと思います。夏休みの自由研究にも活用できるかもしれません。



今年第1回目の「守れ！イチモンジタナゴ！！プロジェクト2017」は、内容が盛りだくさんでしたのでゆっくりみなさんお話しする時間も取れませんでした。感想文を見ているととてもしっかり学習してくださり、充実した時間を送ってもらえたことがわかり安心しました。それと同時に参加者のみなさんの意欲の高さを感じ、これからのプロジェクトがますます楽しみになりました！